

NVR

**中途視覚障害者の雇用継続と
支援機器等の活用**

1997年3月

日本障害者雇用促進協会

障害者職業総合センター

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

ま え が き

障害者職業総合センターは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、労働行政のみならず、我が国における職業リハビリテーションの推進とサービスの質的な向上に貢献することをめざして、職業リハビリテーションに関する調査・研究、障害者の雇用に関する情報の収集・分析・提供、職業リハビリテーション施設の運営・指導、専門職員の養成・研修、障害者に対する職業リハビリテーションサービスの提供などの事業を行っております。

このため、当センターでは、職業リハビリテーションの各領域にわたる調査・研究を広く実施するとともに、その成果を調査研究報告書その他の形で取りまとめ、関係者に提供しております。

本報告書は、その研究のひとつである「中途視覚障害者の雇用継続における就労支援機器等の利用に関する研究」（平成6～8年度）の成果をまとめたものです。この研究は、中途視覚障害者の雇用継続がきわめて困難な状況にあり、これを何とか改善しなければならないという、視覚障害リハビリテーション施設職員の思いと、視覚障害者の就労を支援する上で、どのような機器・ソフトを利用すればよいのか、また今後どのような機器・ソフトの開発が望まれているのかを把握したいという、当センター研究員の思いから始まりました。そして、現状を把握するために、1991年度より首都圏の視覚障害リハビリテーション3施設の利用者の状況、全国の生活訓練実施施設の訓練の状況、及び種々の支援機器等のデータも収集し、中途視覚障害者の雇用継続を図る上で、視覚障害リハビリテーションサービス（とくに生活訓練）や支援機器等の利用の問題点を検討しました。

この報告書が、職業リハビリテーション関係者、視覚障害リハビリテーション関係者、そして企業関係者等の中途視覚障害者の雇用支援に関わる方々の参考となり、一人でも多くの中途障害者が雇用継続を果たせたなら、筆者らの大きな喜びです。

1997年 3 月

執 筆 者 一 同

執筆担当（執筆順）

氏名	所属	担当部分
岡田伸一	障害者職業総合センター	第1章・第7章
中村哲夫	東京都失明者更生館	第2章
渡辺文治	神奈川県総合リハビリテーションセンター 七沢ライトホーム	第3章
北林裕	日本盲人職能開発センター東京ワークショップ	第4章 第5章第1・2節
青木成美	宮城教育大学教育学部	第5章第3・4節
渡辺哲也	障害者職業総合センター	第6章